

令和6年度 秋田県立西仙北高等学校

第2回学校運営協議会 概要

秋田県立西仙北高等学校学校運営協議会事務局

1 日 時 令和6年11月13日(水)

2 会 場 秋田県立西仙北高校 商業実習室、図書館、201教室

3 参加者

【 学びのコラボ 】 出席者 13名 (委員3名 校内委員 5名 生徒5名) 欠席者 1名
【 ちいき未来 】 出席者 14名 (委員4名 校内委員 5名 生徒5名)
【 キャリア拓く 】 出席者 12名 (委員4名 校内委員 5名 生徒3名)
全体会 出席者 27名 (委員11名 校内委員 16名)

4 目的

分科会に生徒も参加することで、生徒と地域の方が西仙北高校と西仙北地域の未来をともに語り合い、協働する機会とする。

5 日程

(1) 授業参観(各教室14:20~15:10)

	1 A	2 A	3 A		
			ビジネスコース	ライフデザインコース	文理総合コース
科目名	地域探究 I	地域探究 II	ビジネス コミュニケーション	生活産業情報	生物
教室	102教室 (2階)	202教室 (2階)	商業実習室 (2階)	情報処理実習室 (2階)	302教室 (1階)

(2) 分科会(15:20~16:10) *生徒代表参加

「学びのコラボ」図書室 「ちいき未来」商業実習室 「キャリア拓く」201教室

- ①第1回学校運営協議会の内容報告
- ②生徒からの意見、提案、希望
- ③意見交換

(3) 全体会(商業実習室 16:25~16:50)

6 授業参観風景



1年 地域探究Ⅰ



2年 地域探究Ⅱ



3年ビジネスコース
ビジネスコミュニケーション



2年 地域探究Ⅱ



3年ライフデザインコース
生活産業情報



2年 地域探究Ⅱ

7 意見交換の概要

(1)分科会 ①【 学びのコラボ 】

1 生徒から、自身の住む地域と西仙北地域を比較しながら、この地域に対して思っていることを話してもらった。

- ・自分の住んでいる南外地区と比べてそんなに大きな違いはないと感じる。僕の要望は、学校帰りにみんなで集まれるたまり場のような場所がほしい。例えば、スポーツセンターのような広い場所である。キッチンカーを呼んでみたりして、そのようなたまり場がほしいと考えている。



- ・自分の住んでいるのは雄和地区で、西仙北と比べてそこまで違いは感じなかった。自分の要望としては、たまり場みたいな放課後にちょっと寄れるところがあって、キッチンカーなど置けば、高校生だけでなく小中学生も集まって、わいわいにぎやかになって地域の活性化につながると思う。
- ・ずっと西仙北地域に住んできて、良いと思うところが2つある。まず1つは、高齢で元気な方々が多いというイメージがあることと、もう1つは、使われていない土地が多いということである。その2つの良いところを活用してできることは、高齢者の方々と関われる機会を増やすということと、地域に子どもが遊べるものをつくってほしいということである。高齢者の方とは、昔ながらの遊びやスポーツを通して交流できればいいのではないか。公園などがあってそこに子どもたちが集まってきたら、地域自体が明るくなるのではないかと考える。また、地域の良くなることとは関係ないかもしれないが、ITを使った表示や、駅などに電光掲示板等あればよいと思った。地域探究の授業で、この地域のことを知ってもらうためにポスターを作ったが、駅の暗くて見えづらい場所に飾ってあったため目につきにくく、せっかく作ったのに残念であった。電光掲示板等で自分たちのポスターを掲示していただいて、もっと地域のことを知っていただきたい。

2 生徒の意見に関して、委員の方々からは、次のような意見が上がった。

- ・スポーツセンター前の場所の活用はどうか。
- ・キッチンカーなど地域の方々の協力を得られればできるのではないか。
- ・現在の大綱サロン（高齢者の方々が集う場所）の活用もどうか。



3 地域探究について

- ・地域外から来ている生徒や教員も多いことや、3年続けてきたため、テーマ設定に難儀していることから、テーマ設定の段階で協力をお願いしたい。
- ・内容に詳しい方を紹介して頂いたり、地域の方々とのつなぎ役になったりして頂きたい。

②【ちいき未来】

1 生徒からの意見・提案・希望

- ・他の分科会と内容が重ならないように「祭り」にフォーカス
→にしせんにぎわいフェスティバルについて（今年度ボランティア同好会＋有志が参加）
- ・フリーマーケット～西高生のもの&地域の人。物を集める時はチラシ作成。
市役所やマックスバリューなどの協力を得ながら。
得たお金は1：1で分ける→生徒会と地域のために使う
- ・キッチンカー～スイーツ系があれば、若い人が集まる!?地域のお店から購入して販売がでないか。
- ・フォトブースの設置
- ・一体感が出せるものを配付～みんなで同じものを身に付ける。



- ・大仙市で知られていないお店の出店～地域のお店を発信するチャンス
- ・ファッションショー～生徒や地域の人に参加してほしい。優勝賞品あり。
- ・スタンプラリー～キャラクターを使いながら。
- ・にしせんにぎわいフェスティバルのスタートが14:00なので、その前に本校の学校祭を行うことができれば嬉しい。

2 意見交換

- ・フリーマーケットとキッチンカー～ブースを提供して、販売することは可能
キッチンカーというよりも「物販」の形
- ・フォトブース～払田の柵にピンクのドアの設置が好評（SNS映えする）
- ・市役所でも缶バッジを作成したことがあるから、ノウハウ有り
- ・ファッションショー～ステージ発表の1つとしてできるのでは。あらかじめ応募
- ・若い人たちの団体が中心になっているので、文化の継承にもつながる。
- ・会場が大綱交流会。会場は広くていいが、「駐車場」が少ない。大きくしたら、キャパシティが耐えきれない。シャトルバスを転回しようと検討したが、今年度はスペースの問題で不採用。
- ・クリアする障壁はあるが、コラボ開催する方向で進めていきたい。
- ・2年間好評だったから、続けることに意味がある。
- ・地域のイベントを盛り上げるためには、みなせ地域で学校と地域コラボしたところ好評だった
- ・西仙北地域でも採用できればありがたい。
- ・生徒の地元に対する思いが強い。生徒の柔軟な発想があることに感銘。
- ・学校を知ってもらうチャンスにしたい。本校は高台にあるので、学校側から降りていく発想の転換が必要になってくる。



③【 キャリア拓く 】

1 現行3コースの利点と欠点について、生徒から意見提示

- ・文理総合コースは多種多様な進路に対応できる。
一方、9教科もあり文武両道が大変、数Bなどは授業で学べず補習を受けなければならない。
- ・ビジネスコースでは、簿記や情報などの資格取得ができ、ビジネス系の進路を目指す生徒に対しては充実している。
- ・ライフデザインコースでも多くの資格を取得できる。一方で、学ぶ範囲が広く深く学べない。



- ・生徒の中にはコース選択の段階で失敗したと感じているものもいるという声が挙がった。

2 意見交換

- ・インターンシップも1年時におこなってみては？
- ・中学校の時のインターンシップはコロナで受けることができなかった。
- ・授業を参観し高校生だけに教えるのはもったいない、地域の私たちも一緒に受けてたい！そんな特殊な高校があっても良いのでは？
- ・コースを選ぶにあたってお試し期間を設けてみては？



8 全体会

1 校長あいさつ

2 各分科会の話題報告 *内容については、7「意見交換の概要」を参照

- (1) 学びのコラボ
- (2) ちいき未来
- (3) キャリア拓く

3 意見交換内容

- ・西仙北高校をもっとテレビや新聞等のメディアに出すことはできないか。そうすることで、実際に生徒数が増加している学校もあるそうだ。
- ・地域と連携を深めていくのであれば、もっと開放した学校にするというのはどうか。生徒数が増えるのはもちろんだが、もっと地域にオープンにして、大人と高校生が交わることによって、賑わいが生まれ、活性化につながっていくと考える。
- ・自分たちの時は、今の学習環境はなかったので、授業に参加して生徒と一緒に学びたいと感じた。許されるのであれば、検討していただきたい。
- ・プロフェッショナルを育成する形をとるのはいかがか。
- ・今回は、生徒たちの具体的な声が聞けてとても良かった。知名度を上げるには、斬新的なことをやっていくべきではないか。地域に開かれた学校として、夏休み等を利用して講座等を実施するのはいかがか。地域住民と子どもたちがふれあうことができるのではないか。
- ・分科会で、生徒から貴重な意見を聞くことができて良かった。今後の参考にしたい。
- ・にしせんにぎわいフェスティバルについては、実行委員会に伝えて、検討をさせていただく。
- ・この学校の売りは、手厚い指導だと思う。それがわかるアピールをし、募集につなげ、わざわざ電車代をかけなくても地元素晴らしい学校があるということを地元の学校でも宣伝しながら存続につなげていきたい。そのためには、さらなる中高連携があれば子どもたちも理解すると思う。
- ・メディア等を通じて、ベストなタイミングで、上手にアピールすることが大切ではないかと思う。
- ・生徒がのびのびと授業を受けていた。人との付き合い方が社会人にとって一番大切だと思う。生徒ファーストで取り組んでいただければ良いと思う。

◎校長謝辞

本日は、長時間にわたり、本校について評価していただき、ありがとうございました。皆様のご意見等を今後の取り組みにつなげていきたいと考えています。入学してくれた子に対しては、全力で育てていくという姿を見ていただいたと思いますが、満足度が高くなるように全職員が生徒と一丸となって良い学校づくりをしていきたいと思っておりますので、今後ともご支援よろしくお願ひします。本日はありがとうございました。

第2回学校運営協議会 アンケートより

対象人数：10名

1. 生徒が参加する試みは
- | | |
|---------|-----|
| よかったと思う | 10人 |
| どちらでもない | 0人 |
| よくなかった | 0人 |

2. 1の理由を含めて、御意見・御感想をお願いいたします。

【ちいき未来】

- ・学校の主体は生徒であり、生徒の生の声を聞く機会を設けることで、大人の偏った考えに固執することなく話が進められた。参加した生徒もしっかりとした考えを持っており、意欲的な生徒をどんどん参画させることで、活性化につながると思いました。
- ・生徒からとても良い提案があり、今後の参考になりました。
- ・ボランティアとして参加された生徒の生の声を聞くことができた。

【学びのコラボ】

- ・大人たちだけの審査だけでなく、生徒たちの意見も貴重と思いました！
- ・生徒の意見が聞けて良かった。
- ・生徒と交流できて良かったと思う。

【キャリア拓く】

- ・主役である生徒の参加がなぜ今までなかったか不思議です。とても良い取組だと評価します。
- ・生徒さんの生の声を聞いたこと。質問に対して3人の意見を聞いたこと。
- ・大人の打ち合わせ状況を直に内容はともかく見聞きできたことは非常に良かったと思います。
- ・具体的な声を聞いて、良かったと思う。学校を地域に開くという意味で、夏休み等を利用した各講座があっても良いかと思われる。

令和6年度 秋田県立西仙北高等学校 第1回学校運営協議会 全体会 概要

秋田県立西仙北高等学校学校運営協議会事務局

日 時 令和6年6月25日（火） 15:30～16:00

会 場 秋田県立西仙北高等学校 商業実習室

出席者 委員：10名（欠席2名） 事務局：14名（欠席2名） 計24名

- 次第
- (1) 開会（総務主任）
 - (2) 校長あいさつ
 - (3) 委員紹介（教頭）
 - (4) 学校運営協議会会則（案）について（校長）
 - (5) 委員長・副委員長の指名（校長）
 - (6) 説明（校長）
 - ① 学校運営協議会制度について
 - ② 学校経営方針について
 - ③ 学校の現状について
 - (7) その他
 - (8) 閉会（総務主任）

令和6年度 秋田県立西仙北高等学校 第1回学校運営協議会 分科会 概要

秋田県立西仙北高等学校学校運営協議会事務局

1 日 時 令和6年6月25日(火) 全体会終了後～16:50

2 会 場 秋田県立西仙北高校商業実習室、図書館、201教室

3 出 欠

【 学びのコラボ 】 出席者 9名(委員4名 事務局5名)
【 ちいき未来 】 出席者 8名(委員3名 事務局5名) 欠席者 1名
【 キャリア拓く 】 出席者 8名(委員3名 事務局5名) 欠席者 1名

4 意見交換の概要

■【 学びのコラボ 】

○生徒の学びの一層の充実をはかるとともに、社会に開かれた教育課程の実現を目指すための方策について意見交換が行われた。

<主な内容>

- ①地域との関わりについては、地域探究や大綱米プロジェクトを活用することが望ましい。
- ②西仙北地域やその周辺地域について、調べられることはたくさんある。
- ③メディア活用や地域産業を商品化することで、西仙北高校をアピールすることにつながる。

<意見・提言等>

○「地域探究」について

- ・大仙市アーカイブズの活用
 - ・雄物川の蛇行と西仙北の沃土の関係など
 - ・協和地区 物部長穂先生や唐松神社
 - ・強首地区 日本軍の軍事訓練地
 - ・小種地区 戊辰戦争の跡地
- ・地域において昔のことを伝える人が少なくなってきた。CSでできることとして、西仙北高校の生徒に伝えて残していくのはどうか。それが地域とのつながりにもなる。
- ・2, 3年くらい前に、西仙北地域の活性化を調べていた団体があった。商店街の活性化についてである。「この地形はすごく良いのになぜ人がいなくなってしまったのか?」ということを研究している団体。生徒にその団体が調べた成果を聞いてもらうのはどうか。地域への理解を深めることができると思う。

- ・他地区がなぜ発展したのかを調べるのも面白いと思う。六郷地区や角間川地区など。
- ・大綱米プロジェクトでは小中高のつながりが持てて、価値があると思われる。他地域から通ってきている生徒も、地元の綱引きに関わることができる。
- ・メディア（テレビ、ラジオ等）に西仙北高校を出すことはできないだろうか。
- ・地域のものを使って商品化するのが良い。麴などもいいかもしれない。
- ・地域探究の課題設定の際に今後相談できたら良いと思う。
- ・西仙北高校を存続させるための協議としたい。
- ・雄勝地域では全寮制の学校の計画があるそうだ。200人規模くらいのことが西仙北高校でもできないものか。秋田銀行の支店がどんどんなくなっていく中で、刈和野支店が残っているというのは、経済的に主要な地区だからではないか。

■【ちいき未来】

○地域と一体となって特色ある学校づくりを進めるとともに、地域の活性化をはかるための方策について意見交換が行われた。

<主な内容>

- ①中高合同の取り組み（ボランティア、部活動、発表会）
- ②地域全体で健康教育の継続
- ③地域全体への広報活動の工夫

<意見・提言等>

- ・健康教育の報告書より
 - ICTの使用過多が健康被害につながっている。そのため、小中高の連携を図り、継続した指導を行いたい。
- ・地域で健康教育を続けていきたい。継続することで比較や検討ができる。
- ・R6年度の入学生4名である。これは危機的状況。もっと地元の中学校（西仙北・協和・平和）から西仙北高校に送りたいが、実際には第一志望にならない。
- ・西仙北高校が第一志望になるように、良いところを紹介していきたい。
- ・ひと昔前と比べて西仙北高校生の人柄も変化しているので、中高で一緒に活動を行いたい。その機会がほしいので、中高の生徒会同士で連絡をとってはどうか。
- ・中学校でも「総合的な学習の時間」で西仙北地域について学んでいる。中学校のプレゼンと、高校の地域探究の発表を合同で開催できないか。
- ・中高合同の部活動に力を入れられないか。バドミントン部は中学校にもある。ソフトテニスのように一緒にできればよいのではないか。
- ・西仙北高校は、大曲ロータリークラブのインターアクト部に所属し、全校をあげてボランティア

活動をしている。(R5は、刈和野駅の清掃ボランティアをした)地域の美化活動を中高だけでなく、支所を巻き込み一緒に行う活動にしてはどうか。

- ・ 8/24(土) 14~19時に「にぎわいフェスティバル」があるので参加をお願いしたい。
- ・ R5の「やよい祭り」では、高校生が SNS などで告知してくれたおかげで、高校生の参加者が多かった。参加だけでなく、地域行事の呼び掛けにも高校生の力を借りたい。
- ・ ボランティア協議会への登録を通じて、他のボランティア団体へのアピールにも繋がり、社会的評価も向上するのではないか。他のボランティアへの幅が広がると思う。
- ・ 今年度、「西高だより」を西仙北中3生全員分いただいている。→HPによる広報にも力を入れていきたいが、まだまだ紙媒体の方が広く伝わるのが現状である。地域の方はHPはなかなか見ない。

■【 キャリア拓く 】

○後援会や同窓会等の関係団体、地域関係機関との連携を通じてキャリア教育の一層の充実をはかるための方策について意見交換が行われた。

<主な内容>

- ・ 地域校についての質問
- ・ 起業コースと福祉科の設置の提案
- ・ 県外から生徒を募集するべく寮の設置の提案
- ・ ボランティア活動への参加促進

<意見・提言等>

- ・ 生徒募集について(立地の良さ、駅が近い、通学しやすい、デンマーク研修、鳥海山が見えるなど近隣4つの中学校にアピールするべきでは、部活動が盛んになれば生徒募集に繋がるのでは)

令和5年度 秋田県立西仙北高等学校 第3回学校運営協議会 概要

秋田県立西仙北高等学校学校運営協議会事務局

1 日 時 令和6年2月21日(水)
受 付 15:20～
協 議 会 15:30～16:50

2 会 場 秋田県立西仙北高等学校商業実習室

3 出 欠
出席者 21名(委員6名 事務局15名)
欠席者 5名

4 次 第

協議会

- (1) 開 会
- (2) 校長あいさつ
- (3) 学校評価・アンケート結果について
 - ・ 保護者・生徒アンケート、教職員アンケート結果の概要について
 - ・ 令和5年度の各分掌等の取組状況について
 - ①総務部 ②教務部 ③生徒指導部 ④進路指導部
 - ⑤特別活動部 ⑥保健部 ⑦図書・視聴覚部 ⑧情報部
 - ⑨研修部 ⑩1年部 ⑪2年部 ⑫3年部
 - ・ 質疑応答
- (4) 学校運営協議会各委員より御提言等
- (5) 校長より
- (6) 閉 会

5 協議内容等(上記(3)質疑応答、(4)について)

- (3) 学校評価・アンケート結果についての質疑応答
 - ・ 特になし

- (4) 学校運営協議会各委員から出された提言の主な内容

【 提言 】

- ・ 「学校だより」は地域の人を読むことを考えると情報が多すぎる。情報を絞りながら作成し、配布していただければよいのではないかと。
- ・ 西仙北高校は、もともと西仙北・協和・南外・神岡の四ヶ町村から生徒が来る学校だった。協和や南外等にも「学校だより」を配布するなどして情報を発信すると地域の方が目を向けてくれるのではないかと。

- ・ 以前は、本校の生徒会長が中学校を訪問する活動があった。そのようなことを行えば西仙北地域以外からも生徒が来るのではないか。
- ・ 生徒数が年々減少する中での学校運営は大変である。そのような状況の中でも”この学校ならではの”というものがあると思うので、そのようなところを発信してほしい。
- ・ よい活動をしているが進路状況やカジュアルデー、西高祭などの地域へのPRが足りないと感じる。地域に開かれた学校というところに価値があるので、その実現につながるような形でPRをしてほしい。
- ・ この地域の小中が一つの学校運営協議会を設置しているので、小・中と高校が一体となった学校運営協議会の運営ができればよいのではないか。
- ・ 学校運営協議会を設置している他校（六郷高校、大曲工業）と、交流や話し合いの機会があれば課題が見えてくるのではないか。
- ・ 保護者アンケート結果の結果から、保護者がPTA活動に参加しやすい手立てを講じてほしい。
- ・ 高校に入れた親は、卒業後がどうなるのか、進路を心配している。進路指導や全体的な見通しなどを示してもらえればよいのではないか。
- ・ 分掌の多さが教科の指導に影響がないかが心配である。校務分掌間で、包含できるところは包含したほうがよいのではないか。
- ・ いろいろな学校行事があるが、少し整理してもよいのではないか。
- ・ 図書館は、生徒どうしのコミュニケーションの場にもなり得る場所であるが、クーラーもなく暖房も不十分とのことなので環境改善が必要ではないか。

【感想等】

- ・ 在学している生徒を良い方向に導いていると感じる。生徒減少傾向にあるが、在学している生徒一人一人を生かして学校を盛り上げて欲しい。
- ・ 生徒一人一人に先生方が手をかけて指導している。進路実績も質が高くなった。地域で見る生徒が生き生きしており、学校が楽しいと感じているのだと思う。
- ・ 地域の取り組みに参加してくれてありがたい。大綱米プロジェクトの綱よいでは高校生のパワーはすごいなと感じた。本番当日の綱のばしには高校生の力が必要だと感じた。
- ・ 生徒数が少ないので、生徒ファーストで全生徒が楽しく成長できる学校であって欲しい。
- ・ 最近地域密着になってきている。

6 その他

特になし

令和5年度 秋田県立西仙北高等学校 第2回学校運営協議会 全体会 概要

秋田県立西仙北高等学校学校運営協議会事務局

- 1 日 時 令和5年11月17日(金)
受 付 14:20～
授業参観 14:30～15:10
全体会 15:30～16:00
*分科会 16:10～16:50
- 2 会 場 秋田県立西仙北高等学校商業実習室
- 3 出 欠
出席者 20名(委員8名 事務局12名)
欠席者 6名
- 4 次 第
全体会
(1) 開 会
(2) 校長あいさつ
(3) 学校の活動報告
・ 学校の近況について
・ 第1回会議で出された提言内容に対する検討状況について
(4) 意見交換・質疑応答
(5) 閉 会
- 5 活動報告等(上記(3)、(4)について)
(3) 学校の活動報告について
・ 学校の近況については、これまでの主な取組と現状について、配付資料をもとに説明がなされた。主な話題は次の4点であった。
 - ① 基礎学力を高め、意欲を引き出す授業の工夫
 - ② 地域連携による実践的な学びの推進
 - ③ キャリア教育の充実
 - ④ その他、特色ある取組
・ 第1回会議で出された提言内容に対する検討状況について、配付資料をもとに説明がなされた。
- (4) 意見交換・質疑応答について
・ 特になし。

令和5年度 秋田県立西仙北高等学校 第2回学校運営協議会 分科会 概要

秋田県立西仙北高等学校学校運営協議会事務局

1 日 時 令和5年11月17日（金） 16:10～16:50

2 会 場 秋田県立西仙北高校商業実習室、図書館

3 出 欠

【 学びのコラボ 】

出席者 6名（委員2名 事務局4名） 欠席者 3名

【 ちいき未来 】

出席者 7名（委員3名 事務局4名） 欠席者 1名

【 キャリア拓く 】

出席者 7名（委員3名 事務局4名） 欠席者 2名

4 次 第

分科会

- ・ 授業参観に関する感想
- ・ 意見交換

5 意見交換の概要

【 学びのコラボ 】

- 第1回会議の分科会での話し合いを踏まえ、生徒の学びの一層の充実をはかるとともに、社会に開かれた教育課程の実現を目指すための方策について意見交換が行われた。また、授業を参観しての感想も聞かれた。

<主な内容>

- ・ 地域探究活動を深めるための、関係施設（地域公民館、公民館併設図書館等）や、そこで行われている教室や講座（仙人大学等）を教育資源として活用していくための方策について
- ・ 地域探究活動におけるフィールドワークの年間計画、日程の組み方について
- ・ 大綱米プロジェクトについて
- ・ ボランティア活動の継続の必要性について



【 ちいき未来 】

- 主にボランティア活動等に関する話題を中心に、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めるとともに、地域の活性化をはかるための方策について意見交換が行われた。また、授業を参観しての感想も聞かれた。

<主な内容>

- ・ 「大綱米プロジェクト」における西仙北の各校（西仙北小学校、西仙北中学校、西仙北高校）の協力のあり方、深化について
- ・ 小中高で合同のイベントやボランティア活動を企画する際の日程（平日実施か土日実施か）と働き方改革の兼ね合いについて
- ・ イベントやボランティア活動の年間スケジュールの作成と調整について
- ・ イベントやボランティア活動に児童生徒が参加する際のバス代等の経費について



【 キャリア拓く 】

- 後援会や同窓会等の関係団体、地域関係機関との連携を通じてキャリア教育の一層の充実をはかるための方策について意見交換が行われた。また、授業を参観しての感想も聞かれた。

<主な内容>

- ・ キャリア教育における地域住民との関わりについて
- ・ 学校を会場とした「介護職員初任者研修資格」取得講座を専門業者に依頼して行い、生徒のみならず地域住民も参加できるような取り組みの実施について
- ・ コミュニケーション能力を高めることの重要性とそのための方策について
- ・ 就職後の離職につながるミスマッチについて
- ・ 進学後の退学・休学につながるミスマッチについて



令和5年度 秋田県立西仙北高等学校 第1回学校運営協議会 全体会 概要

秋田県立西仙北高等学校学校運営協議会事務局

- 1 日 時 令和5年6月28日(水)
受 付 15:15～15:30
全体会 15:35～16:05
*分科会 16:10～16:50
- 2 会 場 秋田県立西仙北高等学校商業実習室

- 3 出 欠
出席者 22名(委員9名 事務局13名)
欠席者 6名

- 4 次 第
全体会
(1) 開 会
(2) 校長あいさつ
(3) 委員紹介
(4) 説 明
①学校運営協議会制度について
②学校経営方針について
③学校の現状について
(5) 弁論大会参加報告
(6) その他
(7) 閉 会

- 5 協議の概要
(4) 説 明
・学校運営協議会制度、学校経営方針、学校の現状について、校長より別紙資料にもとづいて説明がなされた。
・質問・意見等は特になし。
(6) その他
・意見等は特になし。

令和5年度 秋田県立西仙北高等学校 第1回学校運営協議会 分科会 概要

秋田県立西仙北高等学校学校運営協議会事務局

1 日 時 令和5年6月28日(水)
分科会 16:10~16:50

2 会 場 秋田県立西仙北高校商業実習室、図書館

3 出 欠

【 学びのコラボ 】

出席者 7名(委員3名 事務局4名) 欠席者 2名

【 ちいき未来 】

出席者 6名(委員2名 事務局4名) 欠席者 3名

【 キャリア拓く 】

出席者 8名(委員3名 事務局5名) 欠席者 1名

4 次 第

分科会

- (1) プレ学校運営協議会の各分科会議事の確認
- (2) 意見交換

5 意見交換の概要

【 学びのコラボ 】

○生徒の学びの一層の充実をはかるとともに、社会に開かれた教育課程の実現を目指すための方策について意見交換が行われた。

<主な内容>

- ・刈和野地域だけではなく、協和・神岡・南外などの近隣地域とも交流を行っていくことの必要性について
- ・地域探究の活動を近隣地区や生徒の出身地区まで範囲を広げ、近隣地域の教育資源を活用していくための方策について
- ・運動会や学校祭等の学校行事を通じた地域の高齢者の方々との関わりや交流について
- ・ボランティア活動等を通じた近隣の他校種とのつながりや生徒間交流について
- ・基礎学力の充実やきめ細かな指導の充実をはかるための方策について

【 ちいき未来 】

○地域と一体となって特色ある学校づくりを進めるとともに、地域の活性化をはかるための方策について意見交換が行われた。

<主な内容>

- ・保健教育を通じた地域の小中学校や西仙北支所等の地域関係機関との連携について
- ・他校種との保健教育の連携を通じて、地域の家庭教育の充実をはかるための方策について
- ・地域の小中学校や西仙北支所等の地域関係機関との協働による伝統行事への参加(「大綱米プロジェクト」)と地域貢献について
- ・ボランティア活動を通じた地域の小中学校との連携について
- ・部活動指導を通じた地域の中学校との連携について

【 キャリア拓く 】

○後援会や同窓会等の関係団体、地域関係機関との連携を通じてキャリア教育の一層の充実をはかるための方策について意見交換が行われた。

<主な内容>

- ・インターンシップなどの就業体験を通じた地域の企業等との連携について
- ・離職につながるミスマッチを解消するための方策について
- ・資格取得に向けて地域の社会人とともに学ぶことができるような教育環境の整備について
- ・学校の特色や生徒の取り組みを地域に向かってアピールするための方策について